

**国立国会図書館関西館アジア情報室のコレクション
(特集 アジア地域関連コレクション -- わが国主要
図書館の所蔵資料から)**

著者	石川 武敏
権利	Copyrights 日本貿易振興機構(ジェトロ)アジア 経済研究所 / Institute of Developing Economies, Japan External Trade Organization (IDE-JETRO) http://www.ide.go.jp
雑誌名	アジ研ワールド・トレンド
巻	138
ページ	30-33
発行年	2007-03
出版者	日本貿易振興機構アジア経済研究所
URL	http://hdl.handle.net/2344/00005284

特集／アジア地域関連コレクション—わが国主要図書館の所蔵資料から

国立国会図書館関西館アジア情報室のコレクション

石川武敏

●国立国会図書館のアジア資料

「アジア資料」とは曖昧な表現ですが、当館では「アジア言語資料」、「アジア地域刊行資料」、「アジア地域に関する資料」を総称して使用しています。今回は、「アジア言語資料」を中心にして、国立国会図書館関西館アジア情報室のコレクションの概要をご紹介します。

国立国会図書館は一九四八年の創設以来一貫してアジア情報を専ら扱うサービスポイントを館内に設置してきました。「中国資料閲覧室」を嚆矢とし、幾たびかの変遷を経て、一九八六年の機構改革で確定した「アジア資料室」の枠組みが現在のアジア情報室の基礎となっています。その枠組みとは、東アジア（日本を除く）、東南アジア、南アジア、中東・北アフリカ、中央アジアの各地域を準備範囲とすること、選書書誌作成から利用提供、レファレンスまで同一の部署で行うことなどです。「アジア資料室」の資料はそのまま関西館に移送され、現在の蔵書の核となっています。ここで注意すべきは、雑誌・新聞は過去に遡及

してアジア資料室の蔵書となりましたが、一九八五年以前受入のアジア言語図書は東京本館の和書・洋書の中に混在していることです。また、漢籍・朝鮮本は古典籍資料室、地図は地図室、法令集等は議会官庁資料室、児童書は国際子ども図書館というように主題や形態により、他の専門室等が所蔵しているものもあります。当館にはアジア情報室以外にもアジア言語コレクションがあることをご承知おきください。

●資料の紹介

アジア情報室の蔵書数は、現在図書約二十九万冊、逐次刊行物約七六〇〇タイトルとなっています。図書を言語別にみると中国語が約二四万冊、朝鮮語が約二万冊、それ以外のアジア言語が約二万冊、洋書が約一万冊であり、中国語図書がアジア情報室最大のコレクションとなっています。逐次刊行物のうち、雑誌・年鑑が約七〇〇〇タイトル（うち継続収集は約二七〇〇タイトル）、新聞が約六〇〇タイトル（同約二三〇タイトル）となっています。

当室の蔵書の特徴として、まず豊富な新

聞コレクションを挙げるができます。継続収集している約二三〇タイトルを閲覧室に開架しています。そのうち、アジア地域刊行の新聞をリストにしたものが表1です。

次に、言語・地域別に資料をご紹介します。

①中国語資料

・上海新華書店旧蔵書

中国語図書約二四万冊のうち、約一五万冊が上海新華書店旧蔵書のコレクションです。これは、一九四九年に設立された上海新華書店が保管していた書店見本用書籍（様本）を購入したものであり、主に一九三〇年代から一九九〇年代初めの華東地区の出版物から構成されています。新華書店自体は一九三七年に延安で創立され、はじめ人民解放軍に従って解放区に分店を開き、中国全土に販路を広げていったいわば「国営」の書店です。上海新華書店はその分店の一つであり、華東地区における図書出版・流通の拠点としての役割を果たしていました。当館では一九九六年度～一九九七年度の二カ年に分けて中国から購入し、整

表1 アジア情報室開架新聞一覧

中国	湖北日報 江西日報 新華日報 山西日報 大衆日報 重慶日報 四川日報 新疆日報 青海日報 内蒙古日報 福建日報 浙江日報 寧夏日報 貴州日報 遼寧日報 陝西日報 China Daily	ソウル新聞 電子新聞 日刊スポーツ 文化日報 法律新聞 毎日経済 釜山日報 毎日新聞 嶺南日報 大邱日報 延辺日報 東洋日報 全北日報 済州日報 光州日報 慶南日報 慶南新聞 京仁日報 大田日報 江原日報 Korea Herald Korea Times	NHAN DAN VAN NGHE SAIGON GIAI PHONG DAI DOAN KET Quoc te QUAN DOI NHAN DAN Cuoi tuan Viet Nam News ラオス Viangchan mai KPL News カンボジア RASMEI CAMPCHEA DAILY Phnon Penh Post タイ MATICHON Sayamrat Nation Bangkok Post バンコク週報 マレーシア UTUSAN MALAYSIA Mingguan Malaysia New Straits Times Tech&U 星洲日報 シンガポール BERITA HARIAN The Business Times Straits Times 南洋・星洲聯合早報 ミャンマー Kre'mum The New Light of Myanmar インド NAV BHARAT TIMES The Hindu The Sunday Express The Hindu Weekly Edition The Economic Times The Economics Times on Sunday The Economics Times on Saturday バングラデシュ DAINIKA ITTEPHAKA The Bangladesh Observer	パキスタン DAILY JANG Dawn Pakistan Times スリランカ Dinamina Sri Lanka Prajatantrika Samajavadi Janarajaya gasat patraya Daily News The Island Sunday Island ネパール The Rising Nepal ブータン Kuensel アゼルバイジャン БакинскийРабочий カザフスタン БакинскийРабочий タジキスタン Народная Газета ウズベキスタン Народное Слово アルメニア Голос Армении イラン ITTLA'AT Kayhan Tehran Times トルコ HURRIYET Milliyet Turkish Daily News サウジアラビア Arab News イスラエル HA'ARETZ The Jerusalem Post エジプト AL-AHRAM Akhtar el-Yom The Egyptian Gazette Egyptian Mail
中国図書商報 中国工商報 中国婦女報 中国信息報 中国中医業報 中国貿易報 北京青年報 文匯報 解放日報 新民晚報 聯合時報 文壇讀書周報 天津日報 西藏日報 南方周末 南方都市報 南方日報 羊城晚報 廣西日報 安徽日報 雲南日報 河南日報 河北日報 海南日報 蘭州日報 甘肅日報 吉林日報 湖南日報	香港 星島日報 大公報 文匯報 明報 香港經濟日報 South China Morning Post China Daily 台湾 經濟日報(台北) 中國時報 聯合報 工商時報 自由時報 The China Post Sunday China Post 韓国 韓國經濟新聞 博物館新聞 中央日報 ハンギョレ セマウル運動 韓国日報 東亜日報 京郷新聞 朝鮮日報 国民日報 ソウル経済新聞	北朝鮮 民主朝鮮 労働新聞 統一新報 The Pyongyang Times モンゴル YH3H Kumun bicig フィリピン BALITA Manila Bulletin Philippine Daily Inquirer インドネシア SUARA PEMBARUAN KOMPAS Business News The Jakarta Post ブルネイ Borneo Bulletin ヴェトナム TIEN PHONG QUAN DOI NHAN DAN		

理作業は二〇〇一年度から開始し二〇〇五年度に終了しました。内容は、翻訳を含む文芸書、マルクス・エンゲルス、レーニン、毛沢東等の著作集、啓蒙書、実用書、古典、連環画(絵物語の一種)など多岐にわたります。当時の出版状況を反映した貴重な資料群となっています。

・地方志

これ以外の九万冊の中国語図書は、一九八六年以降に受人・整理した資料群で、歴史、地理、古典文学などの人文分野が約半分を占めています。そのうち、特筆すべきコレクションとしては、地方志(方志)があります。「中華人民共和国地方志叢書」など新方志の省・自治区・市・県の行政単位にかかる部分を網羅的に収集しているほか、旧方志についても「宋元方志叢刊」、「天一閣蔵明代方志選刊」など影印本を所蔵しています。

・企業名鑑・統計年鑑

近年、中国の経済発展にともなって、政治、法律、経済などの情報需要が高まり、社会科学分野の蔵書も増加しています。なかでも、利用が多いのが企業名鑑です。自動車産業の名鑑『中国汽车工業企業事業單位大全』など約一四〇種の企業名鑑を所蔵しています。統計資料も利用が多く、各省・自治区・直轄市・特別行政区レベルの統計年鑑をすべて所蔵しています。そのほか、産業分野別の統計年鑑を数多く所蔵しています。

・叢書

『四庫全書存目叢書』など大型の叢書類も重点的に収集しています。

・雑誌

学術誌、大学学報類、総合誌など約三九〇誌を所蔵し、そのうち約一七〇〇誌を継続して収集しており、国内有数の規模の雑誌コレクションとなっています。

・新聞

現在約三五〇紙の中国語新聞を所蔵しており、そのうち約一〇〇紙を継続して収集しています。『人民日報』、『光明日報』などの全国紙をはじめとして、『文匯報』、『羊城晚報』、『南方都市报』など中国の各省や直轄市レベルで発行されている地方紙『経済日報』、『文芸報』などの専門紙を所蔵しています。その他、台湾の『中國時報』、『聯合報』、香港の『文匯報』、『明報』、マレーシアの『星洲日報』、シンガポールの『南洋・星洲聯合早報』などが代表的な中国語新聞です。

②朝鮮語資料

朝鮮語のコレクションは一九九〇年代までは非常に乏しい予算でやりくりしていましたが、近年日本と韓国の交流が活発になったこと、また北朝鮮への関心も高まったこともあり、現在は精力的に収集しています。

・白書・統計・年鑑類

基本的なデータの調査に役立つ白書・統計類および年鑑類は、四〇〇種以上を継続



国会図書館関西館

収集しています。白書は国の行政機関のものはもちろんのこと、特別市、広域市、各道レベルの地方自治体のものまで網羅的に収集しています。統計は、統計庁の『韓国統計年鑑』、韓国銀行の『経済統計年報』のほか、分野別、地域別、産業別の統計を所蔵しています。年鑑類は、新聞社が刊行する総合年鑑のほか、産業別の年鑑、会社年鑑などを所蔵しています。北朝鮮のものとしては『朝鮮中央年鑑』があります。

・地方史誌・会社史・団体史

地方史誌については、道、市、郡のレベルまで網羅的に収集しています。会社史、団体史についても積極的に収集しています。

・叢書

『韓国歴代文集叢書』は古代から二〇世紀までの約三五〇〇名の文人等の文集を全三〇〇〇冊に集大成したものです。内容は詩文、序跋、書牘（書簡）など多岐にわたり、これらを通じて当時の社会、文化を知ることができます。韓国には四庫全書に相当するものがないだけに貴重な叢書といえます。同叢書の索引と目録も所蔵しています。

・雑誌

時事雑誌、学術誌など約二二〇〇誌を所蔵し、そのうち約八〇〇誌を継続して受け入れています。主要な二〇〇誌を閲覧室に開架していますが、そのうち三〇〇誌が北朝鮮発行のものです。

・新聞

約二二〇紙を所蔵し、うち三六紙を継続して収集しています。全国紙はもちろんのこと、道や広域市レベルの地方紙、経済紙、スポーツ紙などを所蔵しています。北朝鮮の『労働新聞』、『民主朝鮮』、中国の延辺朝鮮族自治州で刊行される『延辺日報』などもあります。

③アジア諸地域資料

・東南アジア

参考図書、研究書、基本的な新刊図書を収集しています。当館は一九九八年から米国会議会図書館（LC）の東南アジア共同収集プログラム（CAPSEA）に参加しています。これは、参加館の希望に基づきLCジャカルタ収集事務所が一括して現地での収集を行う仕組みです。フィリピン、インドネシア、シンガポール、マレーシア、ブルネイ、タイ、ベトナム、ラオス、カンボジアの九カ国については大部分をこのプログラムによって収集しており、雑誌や一般に入手が困難な政府刊行物や地方出版物もこのルートで収集しています。

・南アジア

参考図書、基本的な研究書、政府刊行物、統計類を収集しています。南アジア地域に関する資料は英語文献が主となります。欧米発行のもの、現地発行のものを含めて南アジアに関する欧文図書を約二五〇〇冊所蔵しており、そのうち七割がインドに関するものです。国勢調査など経済・統計に関する分野が最も多く、歴史・地理の分野が

これに続きます。ヒンディー語図書は人文分野、特に文学が大半を占めています。

・中東・北アフリカ

新しい資料は十分に収集できていませんが、基本的な古典文献は比較的揃っている地域です。アラビア語資料は人文分野がほとんどで、歴史・地理、宗教、言語・文学などの分野を所蔵しています。ペルシャ語資料は約四割が言語・文学関係、次いで歴史・地理関係となっています。トルコ語資料は、歴史・地理関係が大半を占め、次いで、言語・文学関係となっています。

・中央アジア、モンゴル

中央アジアは収集が難しい地域のひとつになっており、今後充実を図る必要があります。モンゴル語資料は、言語・文学、歴史・地理分野が約六割を占めます。中央アジアについては、参考図書を含め現地資料の収集が不十分であるため、ロシア語資料や英語資料で情報を得ることが多くなっています。

・雑誌

現地語の時事雑誌、学術誌など約六九〇誌を所蔵し、そのうち約一七〇誌を継続して受け入れています。特に、ベトナムをはじめ東南アジアについては現地語雑誌が充実しつつあります。このほか、アジア地域に関する欧文誌四〇〇誌程度を関西館で利用することができます。

・新聞

中国、韓国・北朝鮮以外のアジア諸地域



特集／アジア地域関連コレクション—わが国主要図書館の所蔵資料から

については、一国一紙以上を目指して収集に努力しているところですが、現在収集できている国は約半数程度です（表1参照）。イランで発行されている最も古いペルシャ語新聞 *Isfahān* は一九四一年から所蔵しており、当時の社会を知るための貴重な資料となっております。

●資料の保存状況

図書は参考図書と利用が多い基本図書を閲覧室に開架し、その他のものを関西館内の書庫において保存しています。雑誌・新聞・年鑑は主要なタイトルについて新刊を開架し、バックナンバーについては製本して書庫に保存しています。劣化・破損した資料は、その程度により補修、再製本、保存箱使用などの措置をとっています。

●提供方法

①館内利用

関西館は、近鉄京都線新祝園駅・JR学研都市線祝園駅、あるいは近鉄けいはんな線学研奈良登美ヶ丘駅からいずれもバスで一〇〜一五分程度のところにあります。書庫内の資料の閲覧・複写（著作権法の範囲内）ができるほか、閲覧室では中国学術情報データベース（CNKI）など電子ジャーナルや各種電子資料、三万冊の開架資料（参考図書・基本図書・主要雑誌・主要新聞）が利用できます。

②遠隔地からの利用

資料の複写したい箇所が特定されれば、郵送複写サービスが利用できます。中国語と朝鮮語の図書・逐次刊行物、ベトナム語、モンゴル語、インドネシア語、マレーシア語、アラビア語の図書については、アジア言語OPACで検索の上、アジア情報室ホームページから「郵送用資料複写申込書（アジア情報室専用）」をプリントアウトして申し込めます。中国語・朝鮮語以外の逐次刊行物の複写は登録利用者になればNDL-OPACで検索して（翻字方式）複写を申し込むことができます。

また、開架資料以外の図書は図書館間貸出を行っており、お近くの図書館の中で閲覧することができます。また、登録利用者に限り、東京本館にアジア情報室の図書・雑誌を取り寄せて館内で閲覧・複写が可能です。

③利用資格

満一八歳以上の方であれば、どなたでもご利用になれます。

●今後の展望

よりよいサービスを提供するために現在以下の二点に取り組んでいます。

①資料収集の強化

中国語が当室のアジア言語図書の八五％を占めており、特に中国以外の資料の充実が急務となっています。韓国及び東南アジアについては収集が軌道に乗り、南アジアも徐々に整備しつつあります。中東・北ア

フリカおよび中央アジア地域については現在収集方法の確立に努めています。

また、逐次刊行物の収集の強化に努めています。新聞の「一国一紙以上」の目標の達成を目指すことはもちろん、雑誌も三カ年計画で徐々にタイトルを増やしているところです。

②情報発信型サービスの拡充

アジア情報室ホームページ (<http://www.ndl.go.jp/service/kansai/asialindex.html>) において公開中の各コンテンツについて拡充を図る予定です。「アジア言語OPAC」には現在七言語の書誌情報が搭載されています。今後三年以内にペルシャ語、トルコ語、ヒンディー語、タイ語などの図書の書誌情報を搭載する予定です。そのほか、約六〇〇〇のサイトを紹介するアジア諸国（地域）に関する情報源「*Asialink*—アジア関係リンク集」、日本国内のアジア資料コレクションについて網羅的に把握できる「アジア情報機関ダイレクトリー」についても、検索機能の改善や掲載範囲の拡大を図る予定です。

（いしかわ たけとし／国立国会図書館 関西館アジア情報課長）

〔付記〕 詳細については、「関西館の資料紹介10〜13アジア資料」（国立国会図書館月報）五四七〜五五〇号、二〇〇六年一〇月〜二〇〇七年一月）をご参照ください。